

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）：教育学研究科

岩手大学大学院教育学研究科では、これからの学校教育をリードする専門的力量を備えた管理職及びミドルリーダー教員を養成するとともに、新しい学校づくりの有力な担い手となる新人教員を養成するという教育理念を実現するため、専門性をより高め、得意分野を形成できるため、プログラム制を導入する。

学校全体への総合的な理解を有し、自分の専門の教科や学校種を超えた俯瞰的な視点から包括的な指導力を発揮できる教員の育成を意図して、①専攻共通科目、②選択科目、③実習科目、④リフレクション科目の4つの科目区分を設け、「理論と実践の融合」を目指した教育課程を編成している。

（専門分野の基礎的な知識）

（1）学校の教育活動全体への総合的な理解を有し、自己の専門領域や学校種を超えた俯瞰的な視点に基づいた包括的な指導力を発揮できるスクールリーダーを育成するため、その基礎的な知識を修得するための科目を必修としている。（20単位が必修）

（専門分野の応用的・実践的な知識・技能）

（2）自らの教職経験や学修ニーズに基づいて、専門性をより高めたるために、①「学校マネジメント力開発プログラム」、②「授業力開発プログラム」、③「子ども支援力開発プログラム」、④「特別支援教育力開発プログラム」の4つのプログラムを設ける。（選択科目14単位のうち、プログラム別必修の4単位を含めて8単位は履修しているプログラムの開設科目から履修する。選択科目の残り6単位は、開設科目全体から選択する。）

（高度な実践的指導力の基盤となる能力）

（3）学校経営、学習指導、子ども理解、及び特別支援教育等に関する高度で実践的な指導力の育成を目的として実習科目を設定する。すべての院生が、学校マネジメント力開発実習、授業力開発実習、子ども支援力開発実習の3種類の実習を行う。（10単位）

（専門性に基づいた問題解決能力）

（4）学校現場等での実習で得られる実践知と講義等で得られる理論知を融合させて、教育課題の解決に資するための問題解決能力を育成するために、リフレクション科目を必修科目として設定する。（4単位）

（研究成果の発表等）

（5）リフレクション科目の学びの中で、継続的な指導を受け、「教育実践研究報告書」を作成し、発表する。

（社会への貢献）

（6）すべての科目が、教育課題に真摯に向き合い、学校教育の質的改善に資するために、教育に関する高度な実践的指導力を備えた教員の力量形成を目的としている。

成績評価

成績判定は、試験、レポート、研究報告、論文及び平常の成績等によって行い、秀、優、良及び可を合格、不可を不合格とする。

成績評価は、絶対評価に基づき、各授業科目につき 100 点を満点とし、判定する。